

## 資料調査結果

## 1. 各府県の被害および捕獲について

各府県より情報提供いただいた資料をとりまとめた。被害の現状および捕獲実績を表 1 に、被害金額の推移を図 1 に、捕獲頭数の推移を図 2 に示す。

表 1 各府県の農業被害および捕獲数の推移

		平成10年	平成11年	平成12年	平成13年	平成14年	平成15年	平成16年
大阪府	被害金額 (千円)					7890	7080	9020
	被害面積 (ha)					1505.5	198.3	1159.4
	捕獲数 有害捕獲					8	42	222
和歌山県	被害金額 (千円)	60	48	264	1473	32870	29420	33368
	被害面積 (ha)	1	0	3	10	142	114	42
	被害量 (t)		0	3	10	202	143	166
	捕獲数		13	11	18	147	332	546
京都府	被害金額 (千円)							5380
	被害面積 (ha)							7.57
	被害量 (t)							30
	捕獲数 有害捕獲						65	147
兵庫県	被害金額 (千円)							14759
	捕獲数 有害捕獲+狩猟	2	1	5	3	12	44	99
奈良県	被害金額 (千円)							150
	被害面積 (ha)							0.4
	被害量 (t)							0.4
	捕獲数 有害捕獲						2	2
滋賀県	捕獲数 有害捕獲+狩猟							1

最も古くから記録があり、農業被害金額も最大の和歌山県では、平成10年より被害が計上されている。平成10,11年には5・6万円であった被害金額は平成12年にはその約5倍となり、翌13年にはさらに6倍、その翌年には22倍と指数的に増加し、平成16年には3,337万円となっている。次いで被害金額が大きいのは兵庫県で1,476万円、それに大阪府の902万円、京都府の538万円が続く。奈良県は15万円と少なく、滋賀県では農業被害金額は計上されていない。

捕獲数が最も多いのも和歌山県で、平成14年には前年の約10倍、平成15年にはその2倍、翌16年には546頭が捕獲されている。大阪府でも平成14年に8頭であったのが、平成15年には5倍の42頭、翌16年にはさらに5倍の222頭が捕獲されている。京都府では平成16年には前年の2倍で147頭、兵庫県でも前年の2倍で99頭が捕獲されている。奈良県と滋賀県ではまだ少ない。

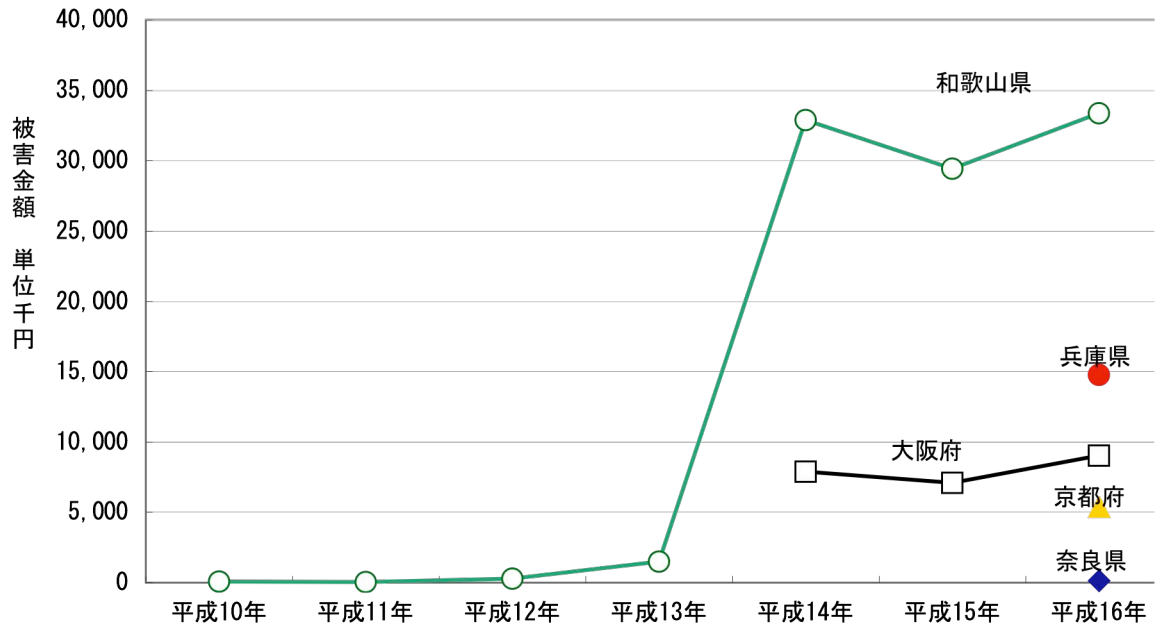


図1 各府県の被害金額の推移

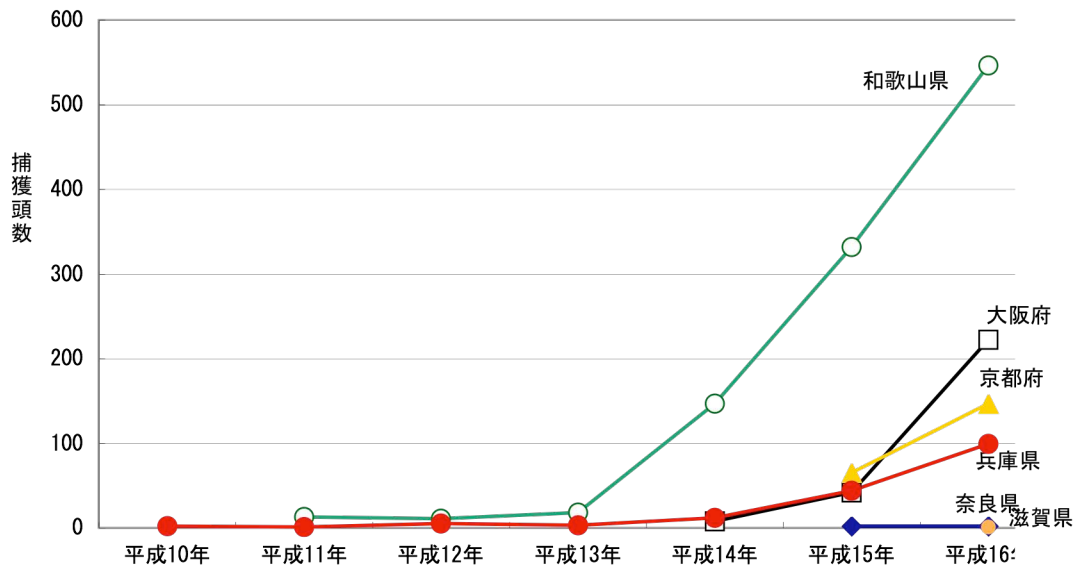


図2 各府県の捕獲頭数の推移

## 2. 各府県の分布状況について

資料調査によって得られた各府県の市町村別生息状況を図3に示す。

和歌山県と大阪府はいずれも府県全域で分布が認められている。京都府では丹後半島、京丹波町および南部地域を除く広い範囲で認められている。兵庫県では県独自の調査で詳細な分布図が得られており、県全域への分布拡大はまだ認められていない。しかし未回答の市町村が散在するため、空白の地域で生息がないと断言することはできない。奈良県では大阪府に接する北西部地域での分布情報が多い。滋賀県では情報を合併後の広い市町で表したため広範囲の分布として示されるが、大津市と野洲市、甲賀市で目撃が2件、捕獲が3件あったのみである。

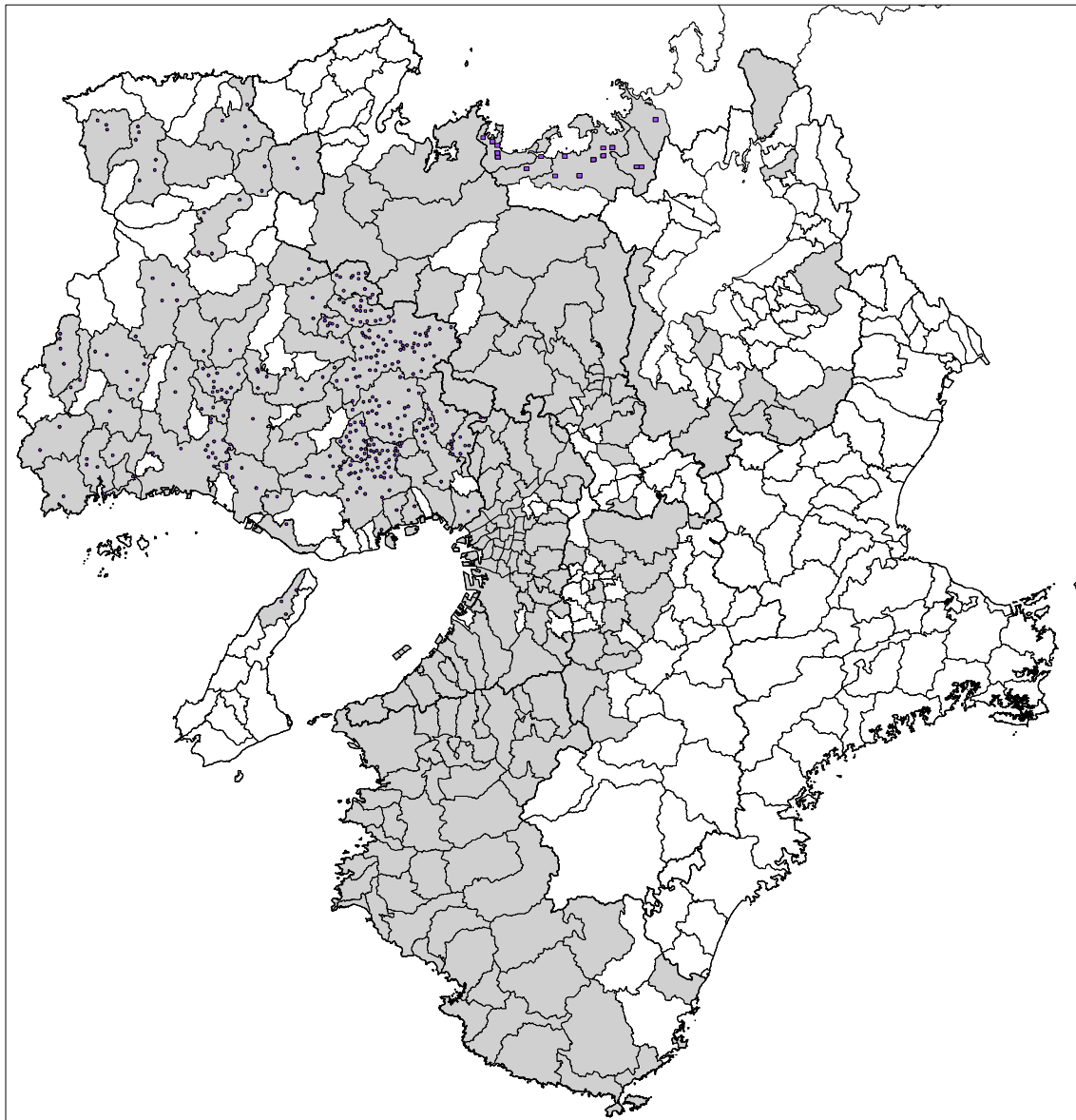


図3 資料調査から得られたアライグマ生息市町村（2006年2月末集計値）

< 凡例 >

- ：資料調査から得られた生息情報のある市町村
- ・：兵庫県によるアライグマ確認ポイント（農会中心位置）
- ：福井県によるアライグマ確認メッシュ